

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和5年度 第2回郷育推進会議
開催日時		令和5年7月12日（水）18:30～20:10
開催場所		市役所本館 大会議室
委員名		（1）出席委員 伊藤副会長、木本会長、原尻委員、東委員、柳田委員、山口委員、宇都宮委員、井上委員、濱田遼委員 （2）欠席委員 濱田真委員
所管課職員職氏名		郷育推進課長 谷口 篤 郷育推進課郷育係長 坂本 剛章 郷育推進課スポーツ文化振興係 露谷 拓人
会 議	議 題 （内 容）	○第1回拡大実行委員会の実施報告について ○福岡ブロック社会教育委員研修会について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	1人
	資料の名称	○福岡ブロック社会教育委員研修会実施要項 ○研修会ローテーション表 ○研修会日程 ○研修会パネルディスカッション流れ ○パネルディスカッション資料例 ○駐車場図 ○受付配置 ○ホール座席表 ○ステージレイアウト ○研修会役割分担表（参考：前年度） ○研修会役割分担表案
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
		<input type="checkbox"/> 要点記録
		記録内容の確認方法：会長による確認
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

事務局挨拶

1. 開会のことば

2. 協議事項

○第1回拡大実行委員会の実施報告について

●会長

前回の会議を振り返りながら進めていきたいと思う。

昨年度、福岡ブロックの4地区が集まり、どんな研修をしたいのか協議を行い、昨年度の担当地区の筑紫野市のテーマを引継ぎ、『「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」～社会教育に携わる人たちの組織的な繋がりについて～』をテーマに講話とパネルディスカッションを行うことに了解を得ていた。

それが、今回の会議で正式に承認を得た。

『令和5年度福岡ブロック社会教育委員研修会実施要項』のを読み上げ。

対象者を、社会教育委員、社会教育・生涯学習関係者、その他社会教育に関心がある者に行っているため、社会教育委員だけではなく、地域コーディネーターや先生にも可能な限り来ていただきたい。

パネルディスカッションの登壇者に糸島地区が入っていない理由については、前回の郷育推進会議でお話ししているが、地区ごとにいくつかの自治体で持ち回り担当しているが糸島地区は糸島市しかなく、継続的に参加しているため今年が入っていない。

なぜ、私たちが行政との繋がりをテーマに入れたかについての経緯をお話ししたい。

社会教育活動をされている方達と学校が連携が出来ているときは良いが、市の機構改革や部署異動に伴い、繋がりが途切れる場合があった。以前は、郷育推進課も市長部局にあり、教育委員会との連携は取れていなかった。他の自治体でも同じような話を聞くことがあり、『繋がり見える化』をすることで何か気づきがあればと、このテーマにした。

今回の拡大実行委員会では、このことについてさまざまな意見が出た。例えば、「行政の良い点や悪い点を洗い出すのは行政批判にならないか?」という意見。そういう意図ではないことはご説明させていただいた。

太宰府市さんは、社会教育と学校教育の連携ができてないから話しづらいかもと言われていた。ただ、まだ繋がりが持っていないからこそ、今後の組織的な繋がりへのヒントにさせていただければいいのではないかとお話をさせていただいた。行政の方も納得していただいた。

次回の拡大実行委員会の9月にはパネルディスカッション登壇者の皆さんに来てもらい、パネルディスカッションの打ち合わせをしていきたいと思っている。

私たちは主催者側になるため、受付などの運営を行っていかねばならない。時期的に台風や雨などの影響を考慮し、何が起きてもいいように委員の皆さんにはご協力をお願いできればと思う。

ここまでについて質問がある方はいるか？

～質問なし～

副会長から説明についての補足があればお願いします。

●副会長

ポイントは、社会教育委員、学校運営協議会委員、地域コーディネーター、などの様々な肩書の方がいらっしゃる中で、それぞれの組織がより良い働きをするためにどんな動きをすればいいか。

例えば、福津市では、社会教育委員が教育委員会に所属しているが、市長部局の方がいい場合もある。どちらがいいかではなく、いくつかの地区から現状を教えてもらい各地域の特徴に合わせた組織づくりのヒントを見つけることができればいいと思う。

どんな意見が出るか分からない。大変だと言う意見の方が多いかもかもしれないが、参考になる情報が出ればいいと思う。

●会長

別紙「施策Ⅰ コミュニティ・スクールの推進」が組織図で分かりやすい。ただ、自分達の立ち位置の認識がなく、全体像が掴めていないことがある。

社会教育団体の活動や出来ることを知ってもらうために、地域コーディネーターさんの協議会にも参加している。地域コーディネーターさんに社会教育団体をどんどん活用してもらえれば。

組織的な繋がりが今後の課題であり、また、今後の展望でもある。

前回欠席されていた方でご意見があればお願いします。

●委員

今回初めて学校として参加しているが、子どもの『学力』の考え方が変わってきている。ただ計算が出来ればいい、漢字が書ければいいと言うだけでなく、さまざまな問題に対して子ども自身が自分の力で解決する力を持つように教えていかななくてはならない。これは、先生のみでは難しい。社会教育にも協力してほしい。地域や学校が一緒になって子どもに力をつけさせるのが大事だと思い、学校は準備している。

地域コーディネーターの人が学校と地域の人々との繋ぎ役として、学校では出来ない部分を地域の人から探してきてもらうイメージが強かったが、これから先は、それ以外の役割も求められてくると思う。

社会教育やさまざまな団体も20年後は今の小学生が中心になる。役割を果たせる人になって欲しい。そういった力を付けてもらうために私たちがどう伝えるかが大事になってくる。

例えば、防災活動に小学生や中学生に参加してもらい経験させるというよりも、大人がいなくても大丈夫なように動けたらいいと視点が変わってきている。昼間は大人が仕事でいない場合が多く、そういった時に動けるのは中学生。では、中学生が中心になって動くには、どう教えていけばいいかという視点が入ってきている。これは、とても理にかなっていて、地域にとっても中学生にとっても意義のあるものになっていくと思う。

地域と学校が組織的に繋がっていくためにどうしていくか考えていく必要がある。結果ではなく今必要なものは何か考える場があればいいと思っている。

是非、先生や保護者も参加し、それぞれの立場からできることを考える場になればと思う。

●会長

今年から郷育推進会議に学校の先生に入っていたが、学校現場の声を直接聞くのは大事だと思っている。学校の現状をある程度は見えていても、教育現場の声は学校の先生から聞かないと分からない部分がある。こちらから聞きたいことも聞くことができる。

社会教育の立場が、学校に協力させられているという形には絶対にしてはならない。社会教育の団体でも、ある程度組織が定着し、年齢が上り人数が減ってくると、縦のネットワークがあると新しい仲間が増えていく。社会教育団体の横のつながりも大事だがこの縦のネットワークがあると心強い。

これから、研修の中身について入っていくが、その前に感想や意見を願います。

●委員

必要なことをしっかりとやっていければと思う。

●委員

文化協会としてできることは、まずはさまざまな団体と関係を作ること。そして、活動を広げていければと思う。

●委員

地域コーディネーターとして、さまざまな組織と繋がりをもって行けたら。

●委員

小学校との関わりは、視覚障害の授業で持っている。
今はそれぐらいしかお手伝いできていない。

●委員

今は、いろんな人との関係を作っている段階だと感じた。

●委員

学校と地域の連携が大事になると改めて感じた。また、自分にできることを探していくことが必要になってくる。

●会長

各地区から合計120人程の参加予定。それに加えて、福津市の地域コーディネーターや先生にも参加してもらえれば。

今回の研修では、立ち位置の見える化、仕組みの見える化をしていきたい。基調講演の後だと休んでいる方もいるが、パネルディスカッションは質疑応答もある。レスポンスもあり、来た方にとって有意義な研修にできればと思うのでご協力をお願いします。

○福岡ブロック社会教育委員研修会について

●会長

今からは作業の話をしていく。

別紙『福岡ブロック社会教育委員研修会役割分担表（案）』の説明。

福津市社会教育委員は郷育推進会議のメンバーのことである。

会長、副会長はステージに立つため、それ以外の8名が受付6名・講師等案内2名で業務に従事する必要があるが、学校業務により1人欠席のため7名で業務を行うことになるが問題ないか？

●事務局

昨年度は、4地区、来賓、一般で6名が受付にいたが、来賓と一般を1つの受付にまとめる。もしくは、2地区で1名にすることで対応可能ではないか。

●会長

各地区の来る人数は事前に把握できる。それに合わせて受付の人数を減らすことができると思う。ただ、希望的観測になるが一般の人数が多くなる可能性もある。このため、一般受付の人数を厚めに対応する方がいいのかもしれない。他にも弁当を渡すことなど人数が必要になる。

行政職員は何人参加が可能なのか確認をお願いします。ただ、これも先の話になるので各地区の人数を把握次第考える。

次に業務の確認を行う。

別紙『福岡ブロック社会教育委員研修会役割分担表（案）』の時間と業務内容読み上げ。

駐車場業務は、シルバーに頼む予定で間違いはないか。

●事務局

その予定だ。

●会長

受付は、受付とパンフレットの配布と各地区がパンフレットを持参した

場合の誘導をしていただく。進行役の司会は心当たりがあり当たっている。舞台転換は行政職員で行うのか。

●事務局

多分人数は足りると思う。

●会長

ステージ上の花について、中央公民館にある造花か生花を用意するのか。

●事務局

予算と兼合いをみて生花を用意する。

先ほどの舞台転換についてだが、委員の中で受付が終わり次第、手が空いていたら手伝っていただければと思う。

●会長

別紙『令和5年度福岡ブロック社会教育委員研修会 ステージレイアウト』について説明。

大変に見えるが、今までは会場を分けて行っていたものを今回は1つの会場で行うため、スタッフの数としては少なくすむ。

挨拶の担当者は、別紙『令和5年度福岡ブロック社会教育委員研修会 日程』のとおり。挨拶の役割は持ち回りで決まっているので、皆さんには設営をお願いします。

現段階では参加者数も分からないため、直前の郷育推進会議で役割分担の細かい部分は決める。

今はとにかく参加を呼びかけてほしい。

●副会長

質問になるが、一般の方は当日飛び込み参加なのか、それとも事前申込なのか。

●事務局

飛び込み参加である。

●副会長

会長が言われていたように、広く参加を呼びかける場合は例年よりも人数が来ることを想定しておく必要がある。多くの人が来場した場合の問題点は2つ。1つは座る場所。もう1つは資料の数。

座る場所は仕方がないとしても、資料だけでも必要とする方はいる。その場合の問題は印刷部数。ある程度は紙で用意しておく必要があるが、足りない場合は、スマホでも資料を見られるようにしては。例えば、資料を見ることができるQRコードを配布するなど。こうすることで、想定以上の

人数が来た時のトラブルを回避することができるため、ぜひ、検討して欲しい。

●委員

実際に防災マップを貰いに行った時に、冊子の予備がなかったのでQRコードで対応してもらった。

提案になるが、研修会の宣伝もしているが、事前のチラシを準備して配布出来ればと思う。

●会長

今までは社会教育委員を対象にしていたため、要項を貰うだけだった。言葉は少なめに必要事項のみ記載して見やすくチラシを作れないか。

●副会長

可能かどうかではなく、どうやるかを考えよう。

●委員

イラストも入れたほうがいい。

●副会長

今の要項は、委員向けであり一般向けではない。

●会長

チラシを作る方向で進めたいと思う。次回の会議で配布するか、郵送するか、事務局と話しながら進めたいと思う。

懸念事項として、当日にふくとびあで就学前健診があるため、中央公民館とふくとびあの間の駐車場が使えない。別の駐車場を検討する必要があるかも知れない。委員の皆さんは、中央公民館の倉庫の前に停めていただきたい。また、後日案内をする。

3. 報告事項

●会長

先日、社会教育委員の新任者研修が行われた。内容は、実践発表以外にトークフォークダンスがあった。社会教育の立場や各々の課題が分かりやすく説明されていた。また、実践発表後のトークフォークダンスも各地域の状況を共有し、有意義な研修会であった。

やはり、他の自治体もさまざまな課題を抱えており、解決のヒントが無いかと聞かれた。これこそが研修の意義だと感じた。福岡ブロックの研修会もこのように有意義なものになればと思う。

●委員

話すことが多く、時間が足りない部分があったが、凄く楽しい研修会だったと思う。

●会長

最後に全体を通しての質問はあるか。

●副会長

参加者は自由席なのか地区ごとに席を決めているのか。

●事務局

自由席の予定。

●副会長

パネルディスカッションを見るだけではつまらないと思うので、会場の方にも4人程度のグループを作ってもらい、一緒にパネルディスカッションを行うのはどうか。会場全体のパネルディスカッションを行うために自由席がいいのではないかと考えている。

●会長

それを行う事を想定して座席レイアウトを考えたい。

●副会長

動線についても工夫が必要かも知れない。

●委員

最後に1つ。新任研修の話聞いて思ったのだが、地域のおすすめの場所を小学生や中学生に考えてもらうのもいいと思う。福岡小学校では3年生が指導を受けながら地域のおすすめ散歩道を作る学習をしている。他の小学校も同じような学習がある。

●会長

各地区の悩みが出たら、小学生や中学生に投げかけてみるのも面白いかも知れない。

最後に副会長からお願いします。

●副会長

大野城の学校協議会に参加したが、そこで話題になっていたのは、子どもの学力。学力の考え方が変わってきている。

例えば、災害の時、知識、技能、思考判断、表現ができたとしても、いざ避難するかどうかの意思決定ができるかが大事になってきている。

この意思決定の力はペーパーテストで測れない非認知的力。予測不可能なこの時代に必要になってきている。それが学校だけで育つのか？学校でも育つが地域が協力することで、より豊かに育つ。

子どもたちをどう育てるかを考えていけば学校と地域の在り方も変わってくるかもしれない。

各々の団体との関係を考えていくうえで、なんのために社会教育活動を行っているのかと言う部分から深められたらいいと思う。

○次回開催日について
9月27日（水）18時30分